

2025年度
市民公開講座

京都市下京区・南区・東山区
在宅医療・介護連携支援センター

人生100年時代! 今をどう生きるか 心を通わせる、かかわりのかたち

令和7年

日時

11月22日(土)

14時～16時(受付開始13時30分)

場所

京都産業会館ホール 北室

講演

忠犬ハチ公はなぜ待ち
続けて死んだのか
～生きる意味は
間(あわい)に～

京都大学大学院
人間・環境学研究科
研究員

佐藤 泰子 先生



主催者・お問合せ先

京都市下京区・南区・東山区
在宅医療・介護連携支援センター

京都市南区唐橋堂ノ前町15-9 エステート南ビル3階
一般社団法人 下京西部医師会内

TEL.075-693-8677 FAX.075-693-3677

ホームページ <https://www.ishikai.or.jp/renkei-center/>

E-mail:shimominami-ikai@ishikai.or.jp



※こちらのQRコードからも
お申込みいただけます。

参加費無料

(事前申込)

定員

先着200名

定員になり次第、締め切らせていただきます

[QRコード][はがき]のどちらか
よりお申し込みください。

ご参加いただけない場合、こちらから連絡させていただきます

申込期間:令和7年9月22日(月)
～11月14日(金)着日有効

※点線に沿って切り取ってお申込みください。

郵便はがき

料金受取人払郵便

京都中央局
承認
8286

差出有効期間
令和7年11月
30日まで
(切手不要)

601-8790

一般社団法人 下京西部医師会
京都市下京区・南区・東山区
在宅医療・介護連携支援センター 宛

221
京都市南区唐橋堂ノ前町15-9
エステート南ビル3階



2025年度 市民公開講座

京都市下京区・南区・東山区 在宅医療・介護連携支援センター

京都大学大学院
人間・環境学研究科
研究員
佐藤 泰子 先生



2009年京都大学大学院 人間・環境学研究科
博士課程修了
京都大学博士（人間・環境学）取得
現在、京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員
京都大学、京都看護大学、聖泉大学、
京都経済短期大学等で精神医療史、生命哲学、
死生学、医療倫理、
コミュニケーション論等の授業担当

<著書>

『死生の臨床人間学 ―「死」からはじまる「生」』晃洋書房
（「死」と「生」を倫理的側面から論じ、援助とコミュニケーション
の在り方を追究した新刊）

『苦しみと緩和の臨床人間学

―聴くこと、語ることの本当の意味―』単著 晃洋書房

『患者の力 ―がんに向き合う 生に向き合う―』編著 晃洋書房

『ヒューマンケアと看護学』共著 ナカニシヤ出版

『メンタルヘルスの理解のために ―こころの健康への多面的
アプローチ―』共著 ミネルヴァ書房 等

『High-context cultureにおける「察する」とは何か』

緩和ケア11月号2022年 青海社

コミュニケーション、ケア、倫理、死生観などを研究していく
なかで「人が苦しいとはどういうことか」についての解明が
必要であることに気づく。そこで「人はなぜ苦しみ、そこから
どのようにして新しい1歩を踏み出すのか」を構造的に理解
するためのシエマ「苦しみと緩和の構造」を構築した。「苦
しみと緩和の構造」、哲学、倫理学、死生学をもとに援助の
あり方を探っている。

講演では、人間の苦しみと言語の関係を手掛かりに「聴くこと」
「語ること」の本当の意味を解説する。

また、死生観に伴う命題「生きる意味への問い」について、
アニメや文学をモチーフにわかりやすく解説し、さらに人間関係
（間（あわい））を端緒としたコミュニケーションのあり方を説い
ている。

人生100年時代！ 今をどう生きるか 心を通わせる、かかわりのかたち

市民公開講座

参加申込みはがき

ご住所 -

お名前

お電話番号

参加人数

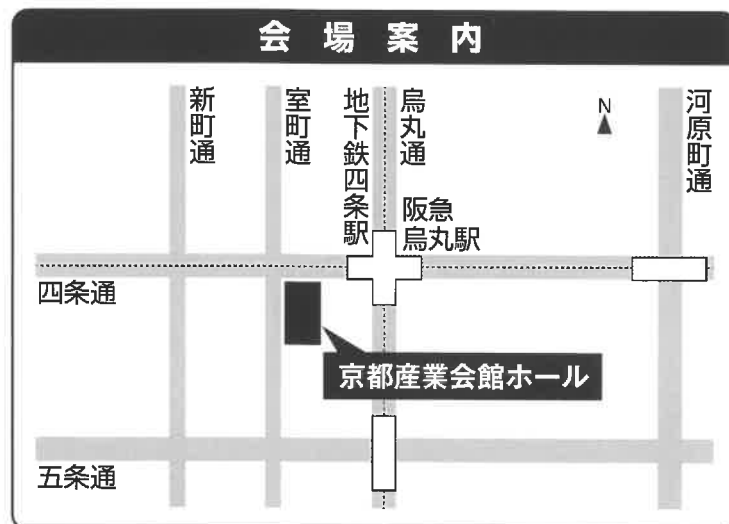
名

ご質問等がございましたら
ご記入ください。
（いただいた質問すべてにお答えでき
ない場合もございます。）

申込期間：令和7年9月22日（月）～11月14日（金）着日有効

ご応募いただいた皆様の個人情報の取り扱いには最大限の注意を払い、来場者の確認にのみ利用
させていただきます。

会場案内



- 市営地下鉄烏丸線「四条駅」下車 北改札口より、徒歩2分
- 阪急京都線「烏丸駅」下車 西改札口より、徒歩2分
（地下鉄・阪急/四条通地下道 23番 出口
京都経済センターB1階入口直結）

在宅医療・介護連携支援センターは、地域の医療・介護
関係者の連携をサポートすることで、在宅療養者が住み
慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを促進します。
本講座は、京都市の在宅医療・介護連携推進事業の一環
で、地域住民の皆様が在宅医療と介護の理解を深めてい
ただき、医師をはじめとする専門職等の支援を得ながら、
在宅での療養が可能であることをお伝えすることを目的
としています。